

1. 企業概要

会社名	株式会社インフォモーフ		代表者名	庄原 誠			
			窓口担当	庄原 誠			
事業内容	空間コンピューティング・ソフト開発		URL	https://infomorph.jp			
主要製品	画像関連の Web サービス、ソフトウェアの開発と販売						
住所	〒191-0065 東京都日野市旭が丘 6-6 東京都立大学6号館 114 号室						
電話/FAX 番号	042-514-9574/042-514-9574		E-mail	info@infomorph.jp			
資本金(百万円)	3	設立年月	令和元年 9 月	売上(百万円)	-	従業員数	3

2. PR事項

『IDTPが実現する「見える化」の最前線： 空間・図面・実写を融合した次世代プラットフォーム』

1. 概要

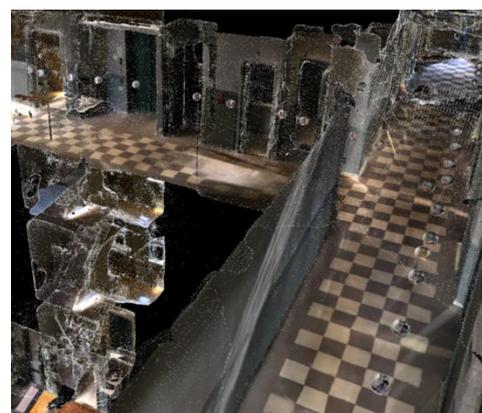
株式会社インフォモーフは、AI および拡張現実(xR)を活用し、空間の「デジタルツイン化」を実現する IDTP (Infomorph Digital Twin Platform) を開発しています。本技術は、高精度な VSLAM 処理により取得された実空間の 3D データと、設計図・図面を一致させ、リアルとデジタルを連動させた運用が可能です。

現在、IDTP 応用の第一弾として、建築不動産業界向け Web サービスを開発し、住宅・不動産領域に活用が進んでいます。IDTP はデジタルツイン向けバックエンドプラットフォームのため、製造、観光、災害対応など各業界向け Web サービスの開発を進めていく計画です。弊社は技術開発に特化したスタートアップのため、最終製品は OEM 供給もしくは特定事業者向けサービスとしての提供を計画しています。

2. 希望する連携内容(共同研究、試作品作りなどマッチングを希望する内容)

具体的に空間情報、位置情報に関して課題をお持ちの事業者の方々と連携し PoC (以下に想定事例) できればと思います。

- 災害時の現場と位置情報を元にコミュニケーションしたい
- 生成 AI を使って会話を分析し、効率的な空間情報の取得を行いたい
- センサー(固定、移動)を工場内、倉庫内に配置して可視化したい



ビル内を 3D 化した例

3. 特記事項 (期待される応用分野等)

- 特許出願件数 2件
- 学会、大学等での講演実績
- 情報処理支援機関(スマートSMEサポーター)認定(経済産業省)

TAMA-LEAPとは、東京都立大学が事務局となり、多摩地域の大学・研究機関、自治体、金融機関、企業等の多様な機関が連携協力して多摩地域発の新規事業や研究開発型ベンチャーの創出と育成の支援、活性化を推進するプラットフォームです。